

精魂込めて

令和8年度 川之江南中学校教育目標

「共に生き合い いのち輝かせる 生徒の育成」

始業式・入学式にて、本年度の学校教育目標について、生徒の皆さん、そして先生方にお話ししました。「共に生き合う」とは、相手の気持ちを想像すること、互いの違いを認め合うこと、そして困っている人にそっと声をかけることです。そうした一つひとつの行動が、命を大切にすることへとつながっています。

また、人を大切にすることは、自分自身を大切にすることにもつながります。自分を尊重できるからこそ、他者を尊重することができるのです。互いを思いやり、互いを認め合うことで、命が輝く学校が築かれていきます。ぜひ、皆でそのような学校をつくっていきましょう。

さらに、昨年度の卒業式では、卒業生代表の合田先輩から、命を共に輝かせながら三年間を共に過ごしてきた同級生たちへ、心のこもったメッセージが贈られました。その言葉から、川之江南中学校には「共に生き合い、命を共に輝かせ合う」という精神が、確かに受け継がれているのだと強く感じました。

三年間苦楽を共にした三年生の皆さん。何気ない会話で笑ったり、時には傷つけ合い、支え合ったりした日々、その瞬間、一瞬一瞬が私にとってかけがえのない時間でした。そんな多くのかけがえのない時間を共に過ごした仲間の皆さんに、私から一つ、最後のお願ひがあります。それは、これからの人生で「多くの人に可能性を与えられる人」をめざしてほしいということです。自分の限界に挑むことや自分の夢に突き進むということは素晴らしいことです。でも、それだけじゃなく、誰かの可能性を信じ、たくさんの人に勇気や自信を与えられる。その連鎖が広がっていくとき、世の中はきっと少しずつ変わっていきます。自分の一歩が、誰かの一歩を後押しする。そんな影響力を持てる人でありたい。

私は、「人は誰でも、誰かの光になれる。」と信じています。この三年間で私たちが支え合って成長したように、今度は私達が、誰かの希望の光となれるよう、共に進んでいきましょう。

令和7年度卒業式答辞より一部抜粋